

○第2回 湯西川ダムモニタリング委員会での指摘事項と対応案

項目	指摘事項等	対応案
生物 (動物・植物・生態系) 関係	<ul style="list-style-type: none"> 調査で確認されたヘビの内、タカチホヘビ、ヒバカリは森林性の薄暗い所を好む種類である。確認時は森林があったのかもしれないが、伐採されればいなくなるだろう。(由井委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 今後継続的に調査を行っていく。
	<ul style="list-style-type: none"> 風穴調査における微気象観測で標準外気温の観測地点を明示しておくこと。(酒井委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 位置図や表の観測地点を本編に明示する。
	<ul style="list-style-type: none"> カジカ調査における個体の年齢区分については、年齢形質による鑑定を実施していないため、当歳魚と1歳以上魚とした区分けにすること。(中村委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 個体の年齢区分を当歳魚と1歳以上魚とした区分けに修正する。
	<ul style="list-style-type: none"> モリアオガエル産卵木として時沢下沢砂防ダムに植える木は枝が垂れ下がらなくても良く、しっかり捕まれるような丈夫な枝の方がよい。(矢島委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 栃木県により周辺部に自生する低木を移植する。目的に合う木を選定し、水面上に張り出すように植栽するようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> エゾエノキ播種個体はシカ等による食害の可能性があるため、対応すること。(小金澤委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 播種個体のプランターについては転倒しないように固定し、株移植個体については、食害があるかモニタリングを行い、食害が確認された場合は、防止策を施すこととする。
その他	<p>委員会で提案された調査を全て実施することについては、費用のことも含めて調査実施の有無を検討することも必要なのではないかと。(中村委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 目的や必要性を十分検討し調査を行う。